リーディングDXスクール事業 【GIGA×教科】

大仙市立中仙中学校（秋田県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 メタ認知を基にした多様な学習方法とその見取り

＜考察＞

生徒の学習状況に応じて複数の難易度の問題を準備し、生徒が自由に問題を選択して学習する複線型授業に取り組んだ。

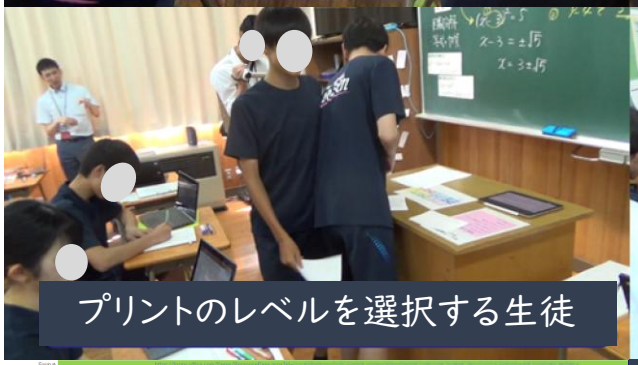
これまでは、生徒がどの問題を選択して、どのような状況にあるのか一人一人机間指導の中で見取らないと分からなかったため、同一の問題を全員で解決する授業が中心となっていたが、Teamsで共有したExcelファイルを生徒が共同編集で3つの状況「取組中」「解決」「助けて」を入力することで画面上で一目で把握することができるようになった。

そのため、「助けて」を入力している生徒には、瞬時に教師や解決済みの生徒が寄り添うことができるようになった。また、状況に進展が見られない場合など全体指導するタイミングを図りやすくなった。状況を把握できるのは生徒も同じなので、「助けて」を入力した生徒は自分で解決済みの生徒に助けを求めに行くことができるようになった。「取組中」を入力している生徒は、解決状況に応じて、同じ問題に取り組んでいる生徒や解決済みの生徒と自分のタイミングで協働的な学びをするようになった。

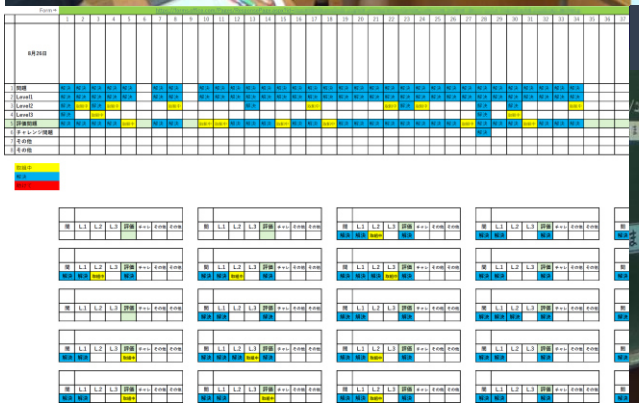
基本的な問題にじっくり取り組む生徒も難問にどんどん取り組む生徒も、把握した状況が奮起の材料になったり、励みになったりしていた。

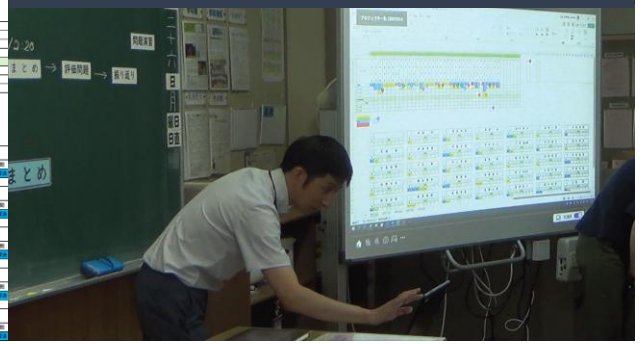
教科書で学習する生徒

説明し合う生徒


プリントのレベルを選択する生徒

ワークで学習する生徒




進度確認表を基に個に応じた指導